

# 解答解説

## 定期テスト

### くもんの 2時間で ニャンとかができる 中学歴史

中1中世

※〈 〉は別解です。

これだけ  
1

重要事項 ①

武士は武力と年貢の取り立てで  
力をのばした

①

- ① 武士団
- ② 源氏
- ③ 荘園
- ④ 奥州藤原氏

②

- ① 武士
- ② 平氏
- ③ 年貢
- ④ 源氏

③

- ① 武士団
- ② 奥州藤原氏
- ③ 年貢
- ④ 平氏

解説

そうニャンだ

③

① 武士たちは、多くの部下を従えて武士団を組織するようになり、軍事力を強めた。武士の集団による反乱も、朝廷にそれをしずめるだけの十分な軍事力がなかったため、武士団の力を借りておさえた。

② 奥州藤原氏は平泉(岩手県)を都市として整え、京都の文化を取り入れながら、多くの屋敷や寺院を建設した。

④ のちに大きな力を持つ平清盛や源頼朝も、棟梁とよばれる統率者であった。

政権をめぐる平氏と源氏の協力と対立をおさえよう

- ①  ① 院政
- ② 保元
- ③ 太政大臣
- ④ 壇ノ浦

- ②  ① 上皇
- ② 平治
- ③ 日宋
- ④ 源平

- ③  ① 保元の乱
- ② 太政大臣
- ③ 院政
- ④ 壇ノ浦

- ④  (ウ → ア → イ → エ)

解説 せうぎんが

- ③ ②平治の乱に勝った平清盛は、後白河上皇による院政を助け、太政大臣となって一族を朝廷の高い役職や国司につけた。
- ④上皇やその住まいである御所のことを「院」とよんだので、上皇の行う政治を院政という。

御恩・奉公が鎌倉幕府を支えた

- ①  ① 鎌倉
- ② 守護
- ③ 征夷大將軍
- ④ 御家人
- ⑤ 御恩

- ②  ① 源頼朝
- ② 地頭
- ③ 武士
- ④ 御家人
- ⑤ 奉公

- ③  ① 守護
- ② 征夷大將軍
- ③ 御家人
- ④ 奉公

解説 せうぎんが

- ③ ①頼朝は、派遣した源義経が平氏をほろぼしたあと、対立した義経をとらえるため、守護・地頭の設置を朝廷に認めさせた。
- ④將軍は、御家人の領地を公認・保護した(御恩)。御家人は、戦いが起こると、將軍のために命がけで合戦に参加した(奉公)。

「御成敗式目」は武士による武士のための法律

- ①  ① 執権
- ② 承久
- ③ 六波羅探題
- ④ 御成敗式目

- ②  ① 北条
- ② 後鳥羽上皇
- ③ 朝廷
- ④ 北条泰時

- ③  ① 御成敗式目〈貞永式目〉
- ② 執権
- ③ 承久の乱
- ④ 六波羅探題

- ④  (イ → ウ → エ → ア)

解説 せうぎんが

- ③ ①「成敗」は裁判。「式目」はきまり(法規)という意味である。
- ③後鳥羽上皇は、北条氏に率いられた幕府の大軍に敗れ、隠岐(島根県)に流された。
- ④承久の乱後、幕府は六波羅探題を置いたほか、上皇方についた貴族や武士の荘園を取り上げ、そこに新たに地頭を置いた。

地頭が開発した土地は、農業や商業の発達につながった

- ①  ① 地頭
- ② 年貢
- ③ 弓馬
- ④ 二毛作

- ②  ① 荘園
- ② 武芸
- ③ 米
- ④ 定期市

- ③  ① 地頭
- ② 定期市
- ③ 二毛作
- ④ 弓馬

解説 せうぎんが

- ③ ①農民は、荘園領主に年貢を納めていたが、地頭が置かれた荘園では地頭が農民を支配しようとすることも多く、農民は荘園領主と地頭の二重支配を受けた。
- ②農民は、市が開かれると農作物を売ったり、農具や衣料品などの日常生活用品を買ったりするようになった。

6 重要事項 ⑥

貴族の伝統文化の見直しと、武士らしい力強い芸術の誕生

- ①  ① 鎌倉
  - ② 平家物語
  - ③ 新古今和歌集
  - ④ 徒然草
  - ⑤ 金剛力士像
- ②  ① 武士
  - ② 琵琶法師
  - ③ 兼好法師 (吉田兼好)
  - ④ 方丈記
  - ⑤ 運慶 (快慶)
- ③  ① 金剛力士像
  - ② 新古今和歌集
  - ③ 平家物語
  - ④ 徒然草

解説 せうニャンだ

- ① 東大寺南大門の高さは約26mで、左右に高さ約8.4mの木造の金剛力士像が置かれている。
- ③ 「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり」で始まる『平家物語』は、琵琶法師が各地をまわり、語り聞かせた。

7 重要事項 ⑦

元との戦いが、御家人の反発と幕府滅亡を招いた

- ①  ① モンゴル
  - ② 元
  - ③ 元寇
  - ④ 弘安
  - ⑤ 徳政令
- ②  ① チンギス・ハン
  - ② フビライ・ハン
  - ③ 北条時宗
  - ④ 文永
  - ⑤ 御家人
- ③  ① 元寇 (蒙古襲来)
  - ② フビライ・ハン
  - ③ 徳政令 (永仁の徳政令)
  - ④ モンゴル帝国

④  (エ → イ → ア → ウ)

解説 せうニャンだ

- ① 元は、このあとも日本侵攻を計画したが、フビライの死によって中止された。
- ③ 徳政令はかえって混乱を招き、幕府と御家人の関係はゆらぎ始めた。

8 重要事項 ⑧

南北朝の動乱の中、尊氏が室町幕府を開く

- ①  ① 建武
  - ② 南北朝
  - ③ 征夷大將軍
  - ④ 室町
- ②  ① 後醍醐
  - ② 南朝
  - ③ 足利尊氏
  - ④ 室町
  - ⑤ 南北朝
- ③  ① 後醍醐天皇
  - ② 室町
  - ③ 南北朝
  - ④ 朝廷
- ④  (ア → エ → イ → ウ)

解説 せうニャンだ

- ① 公家だけを重んじ、天皇中心の政治を行い、人々の不満を生んだ。
- ②③ 義満が京都の室町に建てた邸宅で政治を行ったので、足利氏の幕府を室町幕府という。幕府の制度が整い、義満のころが室町幕府の勢力の最も強い時代となった。

9 重要事項 ⑨

管領が京都を支配し、守護大名が地方を支配した

- ①  ① 管領
  - ② 鎌倉府
  - ③ 地頭
  - ④ 守護
- ②  ① 將軍
  - ② 守護大名
  - ③ 鎌倉
  - ④ 守護
- ③  ① 管領
  - ② 守護大名
  - ③ 鎌倉府
  - ④ 守護大名

解説 せうニャンだ

- ① 將軍の補佐役である管領には、細川氏や山名氏などの有力な守護大名が交代でついていた。
- ② 南北朝の動乱の中で、守護は荘園の年貢の半分を取り立て、軍事費にあてるなどの権限が認められるようになった。守護は、領国の武士を家来として従えるようになり、守護大名へと成長していった。

10 重要事項 ⑩

東アジアなどとの交易は、  
輸出品・輸入品をおさえよう

- 1  ① 明
  - ② 勘合
  - ③ 朝鮮国 (李氏朝鮮・朝鮮)
  - ④ 琉球王国
  - ⑤ アイヌ
- 2  ① 倭寇
  - ② ハングル
  - ③ 中継
  - ④ 和人 (本州の人々)
- 3  ① アイヌ (アイヌ民族)
  - ② 尚
  - ③ 朝鮮国 (李氏朝鮮・朝鮮)
  - ④ 勘合

解説 せうニヤンだ

- 1 蝦夷地では、先住民族が狩りや漁、オホーツク海沿岸地域との交易で生活していた。
- 2 琉球では、14世紀半ばに北山・中山・南山の3王国が成立し、15世紀に中山の王である尚氏によって統一された。
- 4 勘合は明から日本に送られた通行証明書。左半分を日本船、右半分を明が持った。

11 重要事項 ⑪

農業や商業の発達により、  
民衆に座や惣などの組織が生まれた

- 1  ① 二毛作
  - ② 宋銭
  - ③ 馬借
  - ④ 座
  - ⑤ 惣
- 2  ① 絹織物
  - ② 定期市
  - ③ 問
  - ④ 土倉
  - ⑤ 土一揆
- 3  ① 宋銭
  - ② 問 (問丸)
  - ③ 土一揆 (正長の土一揆)
  - ④ 座

解説 せうニヤンだ

- 2 こうした交通の発達に目をつけた幕府や寺社は、交通の要所に関所を作って通行税を取り立てた。
- 3 正長の土一揆では、土倉や酒屋を襲って、土地売買や貸借の証文をやぶり捨て、質に入れた品物をうばった。これをきっかけに、土一揆が近畿地方を中心に広がった。

12 重要事項 ⑫

応仁の乱のあと、  
下剋上の風潮が広がった

- 1  ① 応仁
  - ② 下剋上
  - ③ 戦国
  - ④ 分国
- 2  ① 戦国
  - ② 守護
  - ③ 戦国
  - ④ 城下町
- 3  ① 下剋上
  - ② 応仁の乱
  - ③ 戦国
  - ④ 分国法
- 4  (イ → ア → ウ)

解説 せうニヤンだ

- 3 ① 実力のある者が上の身分の者をたおして権力をにぎることを、下剋上という。
- ② 1467年に京都で始まった応仁の乱は、多くの守護大名をまきこみ11年間続いた。
- ③ ④ 戦国大名は、農民の一揆をおさえながら、領国の武士を家臣に組み入れて強力な軍隊をつくった。

13 重要事項 ⑬

北山文化と東山文化の  
特色をおさえよう

- 1  ① 金閣
  - ② 銀閣
  - ③ 水墨画
  - ④ 能 (能楽)
  - ⑤ 御伽草子
- 2  ① 足利義満
  - ② 書院
  - ③ 狂言
  - ④ 茶の湯
  - ⑤ 連歌
- 3  ① 能 (能楽)
  - ② 狂言
  - ③ 銀閣
  - ④ 書院造
  - ⑤ 金閣

解説 せうニヤンだ

- 3 ① 平安時代から、神社や祭りなどで行われてきた田楽や猿楽などから能が生まれた。
- ③ 足利義政が建てた銀閣は、1層が書院造、2層が禅宗様の仏堂になっている。
- ⑤ 金閣は、2、3層が金箔でおおわれている。

台頭する武士と、  
強い力を示した上皇の政治

- ①  ① 平将門
  - ② 白河天皇〈白河上皇〉
  - ③ 藤原純友
  - ④ 鳥羽上皇
- ②  ① 藤原純友の乱
  - ② 平将門の乱
  - ③ 院政
  - ④ 白河
- ③  ① 平将門
  - ② 白河天皇〈白河上皇〉
  - ③ 鳥羽上皇
  - ④ 藤原純友

解説 せうぎゃんぱ

- ③ ①平将門のもとには、関東で中央政府に不満をいだく武士が多く集まった。関東地方の国司を追い出し、「新皇(新しい王)」を名のった。
- ②摂関政治は天皇の母方が力を持っていたのに対して、院政では父方である上皇が実権をにぎった。

保元の乱・平治の乱の  
勝者と敗者をおさえよう

- ①  ① 平清盛
  - ② 後白河天皇〈後白河上皇〉
  - ③ 源義朝
- ②  ① 保元の乱
  - ② 平治の乱
  - ③ 太政大臣
- ③  ① 後白河天皇〈後白河上皇〉
  - ② 平清盛
  - ③ 源義朝

解説 せうぎゃんぱ

- ③ ①院政をめぐる天皇家や藤原氏の争いである保元の乱が起こると、院の警護をする源氏や平氏の武士たちは、これを武力で解決して急速に地位を高めた。
- ②平清盛は瀬戸内海の航路を整備し、兵庫の港、大輪田泊(神戸市)を整えるなど、積極的な政治を行った。

平氏滅亡と、  
源氏による鎌倉幕府の誕生

- ①  ① 北条政子
  - ② 源義経
  - ③ 北条時政
  - ④ 源頼朝
- ②  ① 征夷大將軍
  - ② 承久の乱
  - ③ 壇ノ浦
  - ④ 執権
- ③  ① 源義経
  - ② 北条政子
  - ③ 源頼朝
  - ④ 北条時政

解説 せうぎゃんぱ

- ③ ①源義経は、幼少期を京都や平泉で過ごした。一ノ谷の戦いなど、その強さを物語る数々の伝説がある。
- ③鎌倉幕府成立の時期については、東日本の支配権を朝廷に認められた1183年、守護・地頭の設置が認められた1185年、征夷大將軍に任じられた1192年とするなど諸説がある。

將軍の力を弱め、実権をにぎる執権

- ①  ① 後鳥羽上皇
  - ② 北条泰時
  - ③ 源実朝
- ②  ① 源氏
  - ② 承久の乱
  - ③ 御成敗式目〈貞永式目〉
- ③  ① 北条泰時
  - ② 源実朝
  - ③ 後鳥羽上皇

解説 せうぎゃんぱ

- ③ ①御成敗式目は51か条からなり、その内容は、公家とは異なる武家社会の慣習や、頼朝以来の判例などに基づく現実的なものであった。
- ②幕府政治は、すぐれた指導者であった頼朝のころは將軍独裁の体制であったが、頼朝の死後の若い実朝らの時代には、御家人中心の政治を求める動きが強まった。
- ③後鳥羽上皇は文武にすぐれ、時代を代表する歌人でもあった。

武士と民衆の力が作った鎌倉文化

- ① 兼好法師〈吉田兼好〉
- ② 運慶
- ③ 藤原定家
- ④ 快慶

- ① 徒然草
- ② 金剛力士像
- ③ 新古今和歌集
- ④ 東大寺

- ① 運慶
- ② 藤原定家
- ③ 快慶
- ④ 兼好法師〈吉田兼好〉

解説

- ①③ 金剛力士像は、運慶や快慶らによってわずか70日あまりで作られたといわれている。
- ② 平安時代の国風文化を代表する、紀貫之らによってまとめられた『古今和歌集』と、『新古今和歌集』とを区別すること。

鎌倉時代の新仏教を開いた人物をおさえよう

- ① 親鸞
- ② 栄西
- ③ 日蓮
- ④ 法然

- ① 題目
- ② 踊念仏
- ③ 念仏
- ④ 曹洞宗

- ① 親鸞
- ② 一遍
- ③ 日蓮
- ④ 道元
- ⑤ 栄西
- ⑥ 法然

解説

- ③ 鎌倉仏教は、念仏・題目・座禅という特徴でも分類できる。  
念仏…浄土宗(法然)・浄土真宗(親鸞)・時宗(一遍)  
題目…日蓮宗(日蓮)  
座禅…臨済宗(栄西)・曹洞宗(道元)

元の襲来と幕府との戦い

- ① 北条時宗
- ② フビライ・ハン
- ③ チンギス・ハン

- ① 元
- ② モンゴル帝国
- ③ 元寇〈蒙古襲来〉

- ① チンギス・ハン
- ② 北条時宗
- ③ フビライ・ハン

解説

- ① モンゴル帝国の出現によって、ユーラシア大陸全体が、一つの世界を形づくることになった。
- ③ フビライ・ハンはチンギス・ハンの孫で、帝位をめぐる争いに勝利して皇帝となった。宋をほろぼすなど、積極的に領土を拡大した。

足利尊氏が北朝、後醍醐天皇が南朝を率いた

- ① 足利尊氏
- ② 後醍醐天皇
- ③ 新田義貞
- ④ 楠木正成

- ① 建武の新政
- ② 足利尊氏
- ③ 室町幕府
- ④ 南北朝の動乱〈南北朝の内乱〉

- ① 新田義貞
- ② 楠木正成
- ③ 後醍醐天皇
- ④ 足利尊氏

解説

- ② 楠木正成は河内(大阪府)の豪族。戦いにすぐれ、後醍醐天皇のために戦い続けたことから、のちに「忠臣」とたたえられた。
- ③ 後醍醐天皇は、宋の朱子学から強い影響を受け、天皇が直接政治を行う体制をめざした。
- ④ 足利尊氏は恩賞を惜しまなかったため、武士たちの間に人望があった。

東アジアなどとの交易と争いをおさえよう

- 1  ① 李成桂  
 ② 足利義満  
 ③ コシャマイン

- 2  ① 勘合〈日明〉  
 ② アイヌ民族  
 ③ 朝鮮国〈李氏朝鮮・朝鮮〉

- 3  ① 李成桂  
 ② コシャマイン  
 ③ 足利義満

解説

せうニヤンだ

- 3  ① 朝鮮独自の文字であるハングルは「大いなる文字」という意味。第4代の王のときに作られ、1446年に公布された。  
 ② 足利義満は「花の御所」とよばれる屋敷を作り、出家したのは金閣をはじめとする北山の隠居所を造らせた。それらの財源となったのが、明との貿易だった。

応仁の乱の対立関係をおさえよう

- 1  ① 足利義政  
 ② 山名持豊〈山名宗全〉  
 ③ 細川勝元

- 2  ① 管領  
 ② 守護  
 ③ 応仁の乱

- 3  ① 足利義政  
 ② 山名持豊〈山名宗全〉  
 ③ 細川勝元

解説

せうニヤンだ

- 3  ① 応仁の乱は、将軍家の相続争いに、守護大名の山名氏と細川氏の争いが結びつき、1467年に始まり、11年続いた。身軽な姿で集団戦法に適した「足軽」という雇い兵が活躍する一方で、足軽による略奪や放火もあり、京都は荒れ果てた。

下剋上で力を持った戦国大名の登場

- 1  ① 毛利元就  
 ② 北条早雲  
 ③ 今川義元  
 ④ 武田信玄

- 2  ① 分国法  
 ② 城下町  
 ③ 中国  
 ④ 桶狭間

- 3  ① 北条早雲  
 ② 武田信玄  
 ③ 今川義元  
 ④ 毛利元就

解説

せうニヤンだ

- 3  ① 戦国大名は、まわりの大名との戦いに常に備えるため、領国の武士たちを組織して、強力な軍団を作った。また、大規模な治水やかんがいの工事を行って農業をさかんにし、鉱山の開発にも力を注ぎ、領国を豊かにした。領国支配のために、分国法という独自の法律を定める大名もいた。

華やかさと素朴さを持つ室町文化

- 1  ① 宗祇  
 ② 雪舟  
 ③ 善阿弥  
 ④ 観阿弥

- 2  ① 能〈能楽〉  
 ② 連歌  
 ③ 水墨画  
 ④ 銀閣

- 3  ① 雪舟  
 ② 世阿弥  
 ③ 善阿弥  
 ④ 宗祇

解説

せうニヤンだ

- 3  ① 水墨画は墨の濃淡で自然や人物を象徴的に表現するもので、北山文化のころにその基礎が築かれ、東山文化のころ雪舟によって大成した。  
 ② 連歌は公家や武家だけでなく、町衆のあいだでも行われ、さらに地方にも広まっていった。

テスト  
1

表や図を使った問題

大事なできごとや用語は、  
表や図に整理してまとめよう

- 1  ① 御恩  
 ② 奉公
- 2  ① 執権  
 ② 六波羅探題  
 ③ 地頭  
 ④ 管領  
 ⑤ 鎌倉府
- 3  ① 源頼朝  
 ② 承久の乱  
 ③ 御成敗式目〈貞永式目〉  
 ④ 元寇〈蒙古襲来〉  
 ⑤ 徳政令〈永仁の徳政令〉  
 ⑥ 建武の新政  
 ⑦ 足利尊氏  
 ⑧ 足利義満  
 ⑨ 応仁の乱
- 4  ① 平家物語  
 ② 新古今和歌集  
 ③ 浄土宗  
 ④ 親鸞  
 ⑤ 日蓮

解説

- 1 鎌倉幕府の将軍と御家人は、御恩と奉公の関係をもとに成り立っていた。
- 2 鎌倉幕府と室町幕府のしくみは、補佐役の違いがポイント。
- 4 鎌倉仏教は、その特徴から区別しよう。

テスト  
2

地図を使った問題

どこであったできごとなのか、  
必ず場所と結びつけて覚えよう

- 1  ① 平将門の乱  
 ② 藤原純友の乱  
 ③ 奥州藤原氏
- 2  ① ウ  
 ② 宋〈南宋〉  
 ③ イ
- 3  ① 元の皇帝…ア  
幕府の人物…エ  
 ② イ  
 ③ エ
- 4  ① 後醍醐天皇  
 ② エ  
 ③ イ  
 ④ 足利義満

解説

- 1 10世紀に、関東で平将門、瀬戸内で藤原純友を中心とする大規模な武士の反乱が起きた。
- 2 ①②平清盛は大輪田泊(現在の神戸港)を整備して、中国の宋と日宋貿易を行った。③壇ノ浦は山口県にある。
- 3 ①イのチングス・ハンはモンゴル帝国の創設者。ウの北条時政は時宗の先祖で、執権政治を始めた人物。  
②元軍は北九州を襲った。
- 4 ①②後醍醐天皇は、奈良県の吉野で南朝を建てた。  
③足利尊氏は、京都で室町幕府を開いた。

テスト  
3

写真や絵を使った問題

人物や建物など、写真・絵が  
あるものはチェックしておこう

- 1  ① 鎌倉(幕府)  
 ② ウ  
 ③ イ
- 2  ① 元寇〈蒙古襲来・文永の役〉  
 ② フビライ・ハン  
 ③ 北条時宗  
 ④ イ } ウ
- 3  ① 足利義満  
 ② 明  
 ③ 倭寇  
 ④ 勘合  
 ⑤ 勘合貿易〈日明貿易〉
- 4  ① 足利義満  
 ② 足利義政  
 ③ 書院造

解説

- 1 ②ア・イはともに室町時代の人物。雪舟は水墨画、観阿弥は能(能楽)をそれぞれ大成した。
- ③アは室町時代の文化、ウは奈良時代の天平文化の特徴である。
- 2 ④元軍の火薬兵器は「てつほう」とよばれた。
- 3 この貿易は朝貢貿易で、将軍は明の臣下とされ、「日本国王」の称号をあたえられた時期もあった。
- 4 ㉞は足利義満が北山に建てた金閣、㉟は足利義政が東山に建てた銀閣である。

テスト  
4

資料の一部が示される問題

資料の中にあるキーワードに  
気をつけよう

- 1  ① 御成敗式目〈貞永式目〉  
 ② 北条泰時
- 2  ① 平家物語  
 ② 琵琶法師
- 3  ① 徳政令〈永仁の徳政令〉  
 ② 元寇〈蒙古襲来〉
- 4  ① 分国法  
 ② (例) 実力のある者が、  
実力で上の身分の者に  
打ち勝つ風潮。

解説

- 1 御成敗式目は慣習に基づいた現実的でわかりやすい法律だったため、広く武士の間に定着した。
- 2 平氏の繁栄と没落をえがいた『平家物語』は軍記物の名作とされ、琵琶法師の弾き語りによって各地に広まった。
- 3 幕府からの恩賞はほとんどなく、御家人たちの生活は苦しくなり不満をつのらせた。
- 4 分国法は、戦国大名による領国を治めるためのおきてで、家臣への支配力を強めるためのものだった。



テスト  
5

用語の意味を選ぶ問題

用語→意味が  
答えられるようにしよう

- 1  ① 上皇  
 ② 後白河 (源義朝)  
 ③ 源頼朝  
 ④ 太政 (宋)
- 2  ① ①  
 ② ウ  
 ③ ア
- 3  ① ×  
 ② ○  
 ③ ○  
 ④ ×
- 4  ① む  
 ② か  
 ③ か  
 ④ む  
 ⑤ か

解説 せうぎんぱ

- 1 ① 天皇の位をゆずった元天皇のことを上皇という。
- 2 源頼朝のころの鎌倉幕府には、執権や六波羅探題はまだ置かれていなかった。
- 3 ① 応仁の乱のきっかけとなった将軍は、足利義政である。
- ④ 戦国大名は、独自の分国法で領国を統治した。
- 4 それぞれの文化の特徴と、それを代表する人物・作品などを整理しておこう。

テスト  
6

用語の意味を説明する問題

「なぜ?」「どんな意味?」を  
いくつかのキーワードで説明しよう

- 1  ① 建武  
 ② 京都  
 ③ 吉野  
 ④ 朝廷
- 2  ① 二毛作  
 ② 惣  
 ③ 寄合  
 ④ 土一揆  
 ⑤ 馬借  
 ⑥ 座
- 3  ① 応仁の乱  
 ② 下剋上  
 ③ 戦国  
 ④ 分国法
- 4  ① 公家  
 ② 北山  
 ③ 書院  
 ④ 東山  
 ⑤ 能(能楽)  
 ⑥ 雪舟

解説 せうぎんぱ

- 1 鎌倉幕府がほろんだあとのようすを整理して覚えよう。
- 2 室町時代は農業技術がいっそう進歩し、民衆の暮らしも変化したことをおさえる。
- 4 室町時代は、幕府が京都に置かれたこともあり、公家と武家の文化が融合した、簡素で深みのある文化が生まれた。